

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 7 月 24 日 (2024.7.24)

【国際公開番号】 WO2023/187909
【出願番号】 特願 2024-510599 (P2024-510599)
【国際特許分類】
F 0 4 C 29/12 (2006.01)
F 0 4 C 29/00 (2006.01)
【F I】
F 0 4 C 29/12 D
F 0 4 C 29/00 B

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 5 月 7 日 (2024.5.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0006
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0006】

20

本開示に係る密閉型圧縮機は、密閉容器内に回転軸を介して電動機で駆動される圧縮機構を備え、前記圧縮機構は、円筒状のシリンダ室を有し、前記シリンダ室に流体を吸入するシリンダ吸入穴が径方向に設けられたシリンダを備え、前記シリンダの外周面には、前記シリンダ吸入穴を囲むように筒状溝が形成されており、前記シリンダ吸入穴と前記筒状溝との間にはシリンダ筒部が設けられており、前記シリンダ筒部の外周面には、前記流体を前記密閉容器外から前記シリンダ室に導く吸入管の一端に設けられた連結管が接続されているものである。

また、本開示に係る密閉型圧縮機は、密閉容器内に回転軸を介して電動機で駆動される圧縮機構を備え、前記圧縮機構は、円筒状のシリンダ室を有し、前記シリンダ室に流体を吸入するシリンダ吸入穴が径方向に設けられたシリンダを備え、前記シリンダの外周面には、前記シリンダ吸入穴を囲むように筒状溝が形成されており、前記シリンダ吸入穴と前記筒状溝との間にはシリンダ筒部が設けられており、前記シリンダ筒部の外周面には、前記流体を前記密閉容器外から前記シリンダ室に導く吸入管が接続されているものである。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

40

密閉容器内に回転軸を介して電動機で駆動される圧縮機構を備え、
前記圧縮機構は、
円筒状のシリンダ室を有し、前記シリンダ室に流体を吸入するシリンダ吸入穴が径方向に設けられたシリンダを備え、
前記シリンダの外周面には、前記シリンダ吸入穴を囲むように筒状溝が形成されており、
前記シリンダ吸入穴と前記筒状溝との間にはシリンダ筒部が設けられており、
前記シリンダ筒部の外周面には、前記流体を前記密閉容器外から前記シリンダ室に導く吸入管の一端に設けられた連結管が接続されている

50

密閉型圧縮機。

【請求項 2】

前記シリンダに接し、かつ、前記回転軸を回転自在に支持する軸受を備え、
前記軸受の外周側端部には、前記連結管との干渉を防ぐ軸受凹部が設けられている
請求項 1 に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 3】

密閉容器内に回転軸を介して電動機で駆動される圧縮機構を備え、
前記圧縮機構は、
円筒状のシリンダ室を有し、前記シリンダ室に流体を吸入するシリンダ吸入穴が径方向
に設けられたシリンダを備え、
前記シリンダの外周面には、前記シリンダ吸入穴を囲むように筒状溝が形成されており、
前記シリンダ吸入穴と前記筒状溝との間にはシリンダ筒部が設けられており、
前記シリンダ筒部の外周面には、前記流体を前記密閉容器外から前記シリンダ室に導く
吸入管が接続されている
密閉型圧縮機。

10

【請求項 4】

前記シリンダに接し、かつ、前記回転軸を回転自在に支持する軸受を備え、
前記軸受の外周側端部には、前記吸入管との干渉を防ぐ軸受凹部が設けられている
請求項 3 に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 5】

前記筒状溝は、前記シリンダの厚さ方向に貫通している
請求項 1 ～ 4 のうちいずれか一項に記載の密閉型圧縮機。

20

【請求項 6】

前記シリンダ筒部の形状は、正面視して、円形状である
請求項 1 ～ 5 のうちいずれか一項に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 7】

前記シリンダ筒部の形状は、正面視して、楕円形状あるいは角丸の長方形形状である
請求項 1 ～ 5 のうちいずれか一項に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のうちいずれか一項に記載の密閉型圧縮機、室外側熱交換器、減圧器、お
よび室内側熱交換器を備えた
冷凍サイクル装置。

30

40

50